



Ravencoin クリプトエコノミー 設計分析レポート

資産発行特化型レイヤー1の経済構造と持続可能性を評価



対象

Ravencoin



参照ウェブサイト

ravencoin.org



データ収集日

2026-07-13



01

資産発行に特化した
PoWチェーン



02

RVNバーンは
利用需要とスパム
抑止を結び付ける



長期的持続可能性は
セキュリティ予算・
資産需要・オフチェーン
検証に依存



ECONOMY



ASSET
ISSUANCE



SECURITY



COMMUNITY



◆ スライド構成 ◆



プロジェクト概要



価値システム



トークノミクス



持続可能性



プロジェクト概要と核心概念

 プロジェクト名 Ravencoin	 分類 Layer 1 / UTXOベース / PoW資産発行チェーン	 基軸通貨 RVN	 ローンチ 2018-01-03	 コンセンサス Proof of Work / KAWPOW	 総供給上限 21,000,000,000 RVN
--	---	---	--	--	---



プロジェクト目的

資産作成・移転・ユニーク資産・報酬・メッセージングを**プロトコルレベルでサポート**



“

RavencoinはBitcoinフォークを基盤とするが、設計目標は
「誰がどの資産を所有しているか」を記録し移転することに最適化されている。

”



価値システム構造



核心価値: 資産発行・所有・移転状態を検証可能な **UTXO** 台帳に記録

汎用スマートコントラクトチェーン



複雑なロジック実行と共有グローバル状態に最適化

VS

資産発行特化チェーン



シンプルで安定した構造で資産ライフサイクル全体を検証



RAVENCOIN

UTXO台帳による資産発行・移転の最適化ネットワーク



総資産数

88,218



最新ブロック

約 4.45M



流通供給量

16.35B RVN



ハッシュレート

1.148 TH/s



アドレス数

27.94M



トランザクション数

28.33M

“



INSIGHT



TVLよりも、資産数・資産移転・アドレス数がより適切な主要指標



Ravencoinの経済活動は「DeFi預入」より「資産ネットワーク活動」として観察すべき

”



オンチェーンメカニズム：資産発行とバーン構造

発行が増えるほど → **RVNバーン増加** → **スパム発行コスト上昇** → **ネットワーク浄化**

◆ 発行タイプ別バーンスケジュール ◆



資産発行純コスト = **発行バーンRVN** + **標準トランザクション手数料**

資産発行純コスト

=



発行バーンRVN

+



標準トランザクション手数料

ルート資産 **500 RVN**

再発行 **100 RVN**

サブ資産 **100 RVN**

ユニーク資産 **5 RVN**

メッセージチャネル資産 **100 RVN**

Qualifier資産 **1,000 RVN**

Restricted資産 **1,500 RVN**

◆ バーンメカニズムの効果 ◆



資産名の先取りと
スパム発行を抑制



発行は同時に
RVN需要と供給減少を生む



資産の意味は発行者が定義し、
ネットワークは状態を検証する

“ Ravencoinの経済メカニズムの核心は、**資産利用がそのままRVN利用へ直結することだ。** ”



報酬システム分析



マイナー報酬



コンセンサス機構 | PoW / KAWPOW



現在推定ベース報酬 | 1,250 RVN



特徴 | GPUフレンドリー、
ブロック報酬 + 手数料を受け取る



資産保有者報酬



発行者は保有者へ
RVNを按分配布可能



用途 | 配当、利益分配、
コミュニティ報酬



注意 | 法務・会計レビューが必要



推定年間新規発行量

657,000,000 RVN



推定名目インフレ率

約 4.02%



次回半減期前のセキュリティ予算

RVN価格 + 手数料に依存

“



強みは予測可能性, 弱みは半減後のセキュリティ予算への漸進的圧力。

”



トークノミクスとユーティリティ



最大供給量

21,000,000,000 RVN



目標ブロック時間

1分

発行 (Block Reward)



半減間隔

2,100,000 ブロック



初期ブロック報酬

5,000 RVN



◆ RVNの4つの主要ユーティリティ ◆



01 採掘報酬とセキュリティ予算

ブロック報酬はマイナーのインセンティブであり、ネットワーク防御予算でもある。



02 トランザクション手数料の支払い

RVN送金と資産関連取引の手数料として使われる。

バーン (Asset Burn)



03 資産発行バーンコスト

資産発行時にRVNをバーンし、デフレ圧力を生む。



04 資産保有者向け報酬通貨

発行者が保有者に報酬を支払うときに使われる。

“

RVNの価値は、ネットワーク利用と希少性のバランスで決まる。

”

◆ トークノミクスの核心公式 ◆

純新規発行量



ブロック報酬発行量



資産発行バーン

解釈ポイント

- ✓ 発行はBitcoin型半減モデルに従う
- ✓ 主要バーン機構は資産発行バーン
- ✓ 需要は資産ネットワーク利用に直結する



オンチェーン / オフチェーンのバランス



オンチェーン要素



RVN UTXO



ブロック報酬とトランザクション手数料



資産発行状酬 / 資産残高



Owner Token / Unique Asset



Restricted / Qualifier 状態



Burnアドレス / IPFSハッシュ参照



資産名・数量・移転・保有状態は
オンチェーンで検証可能。



オフチェーン要素



法的権利と契約



実世界資産の保管



KYC / AML と規制遵守



IPFSファイルの可用性



ウォレットUI表示ポリシー



コミュニティガバナンスと開発プロセス



権利の真実性と執行可能性は
オフチェーン検証に依存する。

Ravencoinは
所有記録に強いが、
権利の検証には
別の枠組みが必要。

“

RavencoinはRWA・セキュリティトークン用途に適しているが、
最終的な信頼の連鎖は**発行者・監査人・法的契約**が担う。

”



主要リスクと限界

リスク水準 → 順位 → 主要リスク → 説明

	高	1		セキュリティ予算の低下	半減が進むと採掘報酬が減り、 長期的インセンティブが弱まる可能性がある。
	高	2		ASIC耐性の限界	KAWPOWは遅延戦略であり、 絶対的な防御ではない。
	中	3		オフチェーン権利リスク	実世界資産・証券・権利とトークンの 結び付きには別途検証が必要。
	中	4		メッセージング・スパムリスク	メッセージングが資産移転と結合すると、 スパムチャンネル化する可能性がある。
	低	5		エコシステム活動の集中	ウォレット・エクスプローラ・ コミュニティへの依存が大きい。



リスクの共通テーマ

オンチェーン設計そのものの
以上に、結果は実際の
利用需要と
オフチェーン運用の質に
大きく依存する。

“

Ravencoinの弱点は、汎用性の不足よりも、
需要・セキュリティ予算・オフチェーン信頼に集中している。

”



持続可能性分析



対象 Ravencoin



公式ウェブサイト ravencoin.org



基準日 2026-07-13



経済的持続可能性



- マイナーへの十分な報酬が不可欠



- 資産発行と移転の需要が安定している必要



- 半減後は手数料とネットワーク利用がより重要



インフラ持続可能性



- ウォレット・エクスプローラ・ノード・取引所の維持が必要



- 観測された公開ノード: **188** ノード



- ツール保守が弱まると参入障壁が上昇



ガバナンス持続可能性



- GitHub・コミュニティ・Foundation中心



- 直接のオンチェーン投票構造ではない



- 捕獲リスクは比較的低いが、意思決定速度は制限される可能性



強み:

公正な発行、明確な供給上限、ネイティブ資産機能



制約:

DeFi コンポーザビリティの制限、縮小するセキュリティ予算からの圧力、エコシステム依存

“



持続可能性はRVN価格そのものより、**資産利用需要・採掘インセンティブ・インフラ維持**により強く左右される。

”



総合評価と主要結論

特化目的への適合性: **強い**

長期的持続可能性: **条件付き**



強み



資産発行に特化したレイヤー1



公正なローンチと明確な供給上限



RVNバーンによるスパム抑止



シンプルで予測可能なPoW構造



限界



DeFiコンポーザビリティが弱く、EVMネットワーク効果が限定的



セキュリティ予算低下による長期圧力



オフチェーン権利検証への依存



エコシステムツール維持リスク

主要判断



価値の核心はTVLではなく、
資産発行・移転ネットワーク



RVN需要は資産利用と
発行バーンに直接結び付く



持続可能性は資産需要・
採掘インセンティブ・コミュニティ開発に依存

“

Ravencoinの設計上の強みは、汎用スマートコントラクトチェーンではなく、
資産発行のための専用PoWネットワークとして理解したときに最もよく表れる。

”